

# Something New

サムシングニュー

vol.42  
SUMMER.2018

特集:科学的根拠に基づいた支援



## 研究と実践の連係

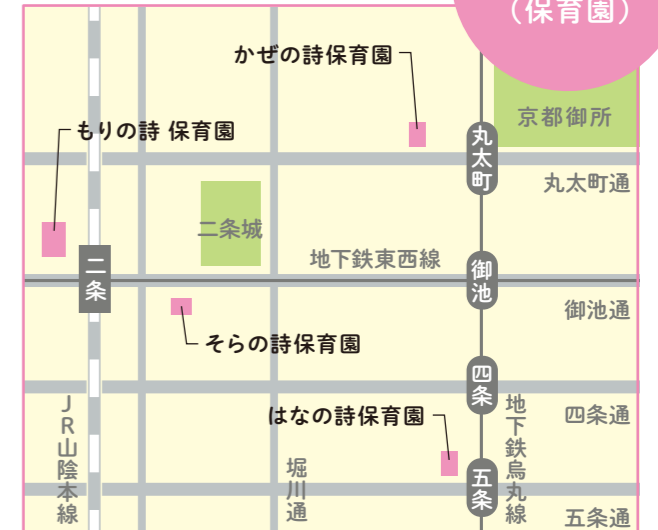


南山城学園広報誌「Something New」(サムシングニュー)42号 平成30年8月1日発行(年4回発行) 発行責任者: 磯形 隆 発行: 社会福祉法人 南山城学園 〒610-0111 京都府城陽市雷野渡谷2番地1 TEL: 0774-52-0425(代) FAX: 0774-53-7578

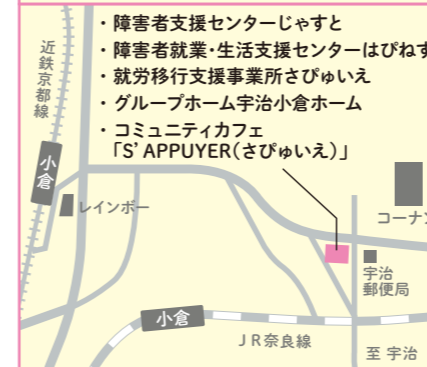
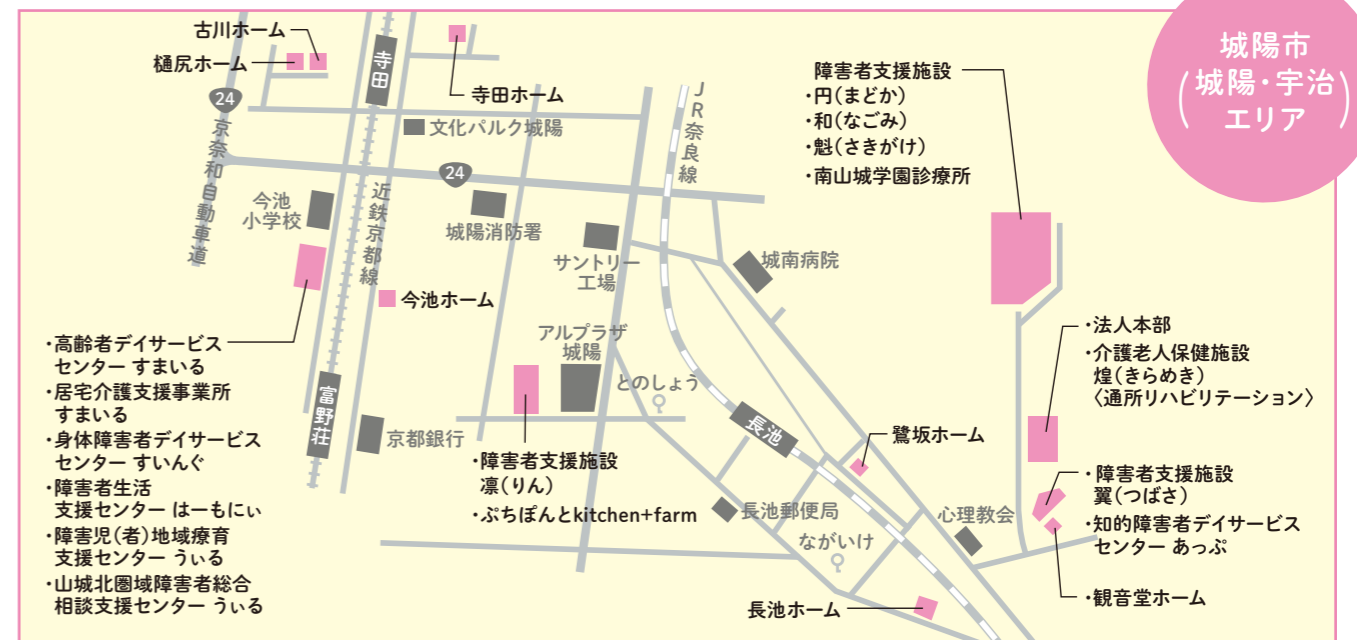
京都市伏見区  
(醍醐エリア)



京都市  
中京区・下京区  
(保育園)



城陽市  
(城陽・宇治)  
エリア



若年者等就労支援拠点サザン京都 (地域若者サポートステーション京都南)  
〒610-0121 城陽市寺田水度坂15-170 TEL 0774-54-5381 FAX 0774-54-5382

一緒に働きませんか?

正職員、パート職員として働きたい、ボランティアをしたいという方は、  
南山城学園の採用サイトをご確認ください。  
<http://r-minamiyamashiro.com/>



### 編集後記

先日、法人の施設近くの水路にカルガモの子ども8羽がはまってしまい、職員による懸命な救出劇が繰り広げられました。3羽は無事助け出されましたが、残り5羽は手の届かないところへ…。母カルガモは「3羽いるし、ええか」と言わんばかりに、救出された3羽を引き連れてさっさとその場を去っていきました。動物界の「生き残る厳しさ」と共に、人間界の「ほっとけない優しさ」も感じた時間でした。(田中)





## 当法人が養成研修を開催し、2年間で259名が受講



当法人では、京都府の障害福祉に従事している職員を対象に、強度行動障害支援者養成研修を実施しています。2016年度からスタートし、すでに基礎研修186名、実践研修73名、計259名が受講し、各事業所において実践をしています。より実践現場で活かすことができる研修を実施するため、講師には、日々、強度行動障害者支援を専門的にされている方にご登壇いただいています。

## 京都府内の強度行動障害者支援の向上を目指して

2017年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)

研修科目名	講師名
オリエンテーション	事務局
[ I 講義 ] 1.強度行動障害がある者の基本的理解	社会福祉法人 横浜やまびこの里 志賀 利一
[ I 講義 ] 2.強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	社会福祉法人 横浜やまびこの里 志賀 利一
[ I 講義 ] 1.強度行動障害がある者の基本的理解	児童精神科医 門 眞一郎
[ I 講義 ] 2.強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	児童精神科医 門 眞一郎 南山城学園 西田 武志 南山城学園 西田 武志 京都府立向ヶ丘支援学校 野畑 光代 南山城学園 山本 周平
[ II 演習 ] 1.基本的な情報収集と記録等の共有	南山城学園 澤 月子
[ II 演習 ] 2.行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	児童精神科医 門 眞一郎
[ II 演習 ] 3.行動障害の背景にある特性の理解	児童精神科医 門 眞一郎

### 志賀 利一

社会福祉法人横浜やまびこの里  
相談支援事業部長

大学卒業後、神奈川県内で、発達障害専門診療所に心理職として発達障害児の療育相談を13年間行う。その後、障害者の一般就労を目指す施設の運営に15年間携わったのち、独立行政法人国立のぞみの園で知的障害・発達障害のある人の生活上の課題と支援のあり方について調査研究を8年間続け、2018年4月より現職。



### 門 眞一郎

児童精神科医

1973年京都大学を卒業。1981年から2017年まで、京都市児童福祉センターに勤務。現在、フリーランスの児童精神科医。



### [ 演習 ]

行動障害がある人の意思などを理解するため、コミュニケーションツールとしてPECSの実践を取り入れた演習を実施。

PECSを取り入れた研修などを府内で行うことにより、近隣の施設から勤務時間中に参加することができるようになります。費用や時間の負担を軽減し、より多くの参加を促している、全国的にも珍しい研修事例です。



### 澤 月子 スーパーバイザー

熊本大学教育学部特殊教育専攻卒  
大阪・京都府の特別支援学校教諭を経て、  
「京都市発達障害者支援センター」副センター長。  
現在、南山城学園SV・湊川短期大学非常勤講師。

## 澤 月子スーパーバイザーに聞きました これからも、行動記録と 分析の徹底を!

共通言語を持つこと  
からスタート

まず、行動記録を確実にすることやアセスメントの必要性を共有し、構造化、PECS、スケジュールなどが共通言語になるよう、支援の枠組み作りから始めました。次に、客観的なフォーマル検査「PEP-3検査」を、職員自身ができるようマニュアルを整備した上で導入しました。現在、同検査の研修は横浜まで行かないと受けるのは全国的にみても南山城学園だけだと思っているので感謝しています。職員は自ら核となり実践していることを誇りに思ってもらいたいです。

### 「PEP-3を選んだ理由」

- ① プロフィールを描けること。  
他の検査でも可能だが、もっと難解で観察者に技量を要する。
- ② 得手不得手が分かる。
- ③ 発達障害を伴う知的障害の中でも重度の方向けである。
- ④ 職員がとっつきやすい。

「PEP-3」には、172もの検査項目があり、129番目に「あなたの名前は？」と出てきます。このタイミングでこの質問、おかしいと思いませんか？前半は全く言葉がない人でもできるような質問に、後半にわざと言葉の課題を持つてくるという、澤オリジナルの順番に変えているのです。

いま持っている力を  
どう活かすか

例えば、発達障害で知的障害の重い人の「作業が続かない」という課題。原因は「集中力が無い」ではなく、「できない」ことです。では何が「得意」なのか？検査の結果、言葉が必要としない

理解力と表現力があることが分かりました。プロフィールに「手先の力があるからもっと仕事で活かせる」と描くことにより、苦手なことを得意なことで補うことができます。支援の考え方を変えてほしいのです。「苦手」を克服するために練習するというボトムアップ的な発想は必要ないと思っています。支援のアセスメントで一番大事なのは、多面的にみるクセを付けること。PEP-3でプロフィールを描くことにより、分かりやすくなるので、職員の見方が明らかに変わります。実際に研修記録を出してもらったときの「そうだったんだ！なるほど！」というリアクションにはゾクゾクしますね(笑)。

支援現場で一番困るのは  
勉強しないのに熱心な人

4月の人事異動で、利用者様が調子を崩すとよく聞きますが、これは、支援の統一ができていないからです。例えば言葉がけも「この人はこう言っているが、あの人は別のことを言っている」と利用者様は混乱し、興奮や他害につながりかねません。「調子がいい、悪い」と曖昧に表現しがちですが、その行動が起きているのは「なぜ？」と考えるクセと学ぶ楽しさを知ってほしいのです。初めは知識がなくても、興味関心を持つことで必ず支援者として向上していきます。私が学びの場を提供していくので面白いと思ったら食いついてきてほしいです。

まとめとアウトプットの  
継続を

この3年間で、構造化やスケジュールが共通言語になってきました。きちんと記録して行動分析をすることを徹底してほしいです。大切なのは、やりっぱなしではなく、発表する機会を設けて皆に共有し、評価してもらうこと。こうして成長した職員には、法人を超えて、他法人へのコンサルテーションにも挑戦してほしいと思います。



コミュニティカフェ「S'APPUYER(さびゅいえ)」

## 6月、宇治市蔭山に 地域福祉支援センターが オープンしました!

カフェ&食品加工を訓練カリキュラムとした障害者の就労移行支援事業所とグループホーム、生活や働くための相談支援事業所などを併設した複合型センターです。障害者の地域生活の支えとして、また地域住民の交流の場としての拠点となることを目指します。

7月からオープンしたコミュニティカフェ「S'APPUYER(さびゅいえ)」は、フランス語の“寄り添う”の意から。文字通り、地域に寄り添う場としていきたいと絵本カフェや子ども食堂なども実施する予定です。ぜひお立ち寄りください。

### 地域福祉支援センター宇治小倉 [事業内容]

- ・ 障害者支援センターじゃすと
- ・ 障害者就業・生活支援センターはびねす
- ・ 就労移行支援事業所さびゅいえ
- ・ グループホーム宇治小倉ホーム
- ・ コミュニティカフェ「S'APPUYER(さびゅいえ)」



2018年度は25名のフレッシュな職員が入職しました。

## 新規採用職員紹介



・名前  
・配属先  
・お題の理由

お題 私を何かに例えると○○です!



嶋田 優希 (しまだ ゆうき)  
地域福祉支援センター宇治小倉  
進みは遅いけれど、着実に進んでいきます。



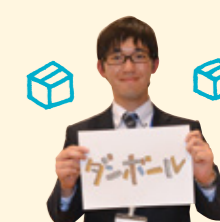
小中 成美 (こなか なるみ)  
介護老人保健施設 煌  
のんびりしてて常に眠そうだけど、やると決めたことは最後までやりきるから。



安達 真奈美 (あだち まなみ)  
障害者支援施設 光  
人見知りではあるが、時間をかけて仲良くなっていく。



小林 麻里 (こばやし まり)  
障害者支援施設 魁  
食べてる姿が似ていると言われます。集中すると没頭して取り組みます。



内藤 瑞氣 (ないとう みずき)  
障害者支援施設 円  
量は限られていますが、いろいろなモノをつまみこみます。また、使い次第で様々な形にできます。



藤吉 真子 (ふじよし まこ)  
地域福祉支援センター宇治小倉  
「生命力が強い」とよく言われます。どんな場所でも花を咲かせる強さと運しさを持つ人になりたい。



新井 大貴 (あらい だいき)  
介護老人保健施設 煌  
思い立ったら即行動。熱い気持ちで接します。



熊 那奈子 (くま ななこ)  
障害者支援施設 光  
名前もクマですが(笑)雰囲気ふわっとしていると言われるので、人を和ませられる存在になりたい。



棚田 雪子 (たなだ ゆきこ)  
障害者支援施設 魁  
自分がいればその場がパッと明るくなるような存在になりたいから。



尚崎 野乃花 (おかざきの のか)  
障害者支援施設 和  
よくネコみたいと言われるので。懐くとガンガンいきます。



溝口 佳奈 (みぞぐち かな)  
法人本部事務局  
白黒はっきり見せて灰色(優柔不断な部分も...)。シャチのように強く優しくなりたいです!



坂田 周平 (さかた しゅうへい)  
介護老人保健施設 煌  
時間はかかっても、必ず険しい岩山の頂に立ちます。



山本 克樹 (やまもと かつき)  
障害者支援施設 輝  
動物占いの答えでした。「他人のことを思いやる」を、これからも高めていきたいから。



岩田 菜々 (いわた なな)  
障害者支援施設 翼  
それ自体では目立たないけど、花束にはかせない存在で、主役を引き立てられる人になりたいから。



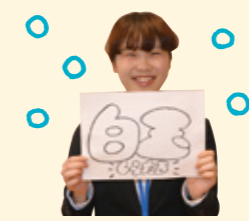
岩下 智哉 (いわした ともや)  
障害者支援施設 和  
和洋中に使える。主役ではないが欠かせない物のように。利用者様に必要とされる人になりたい。



小山 明人 (こやま あきひと)  
法人本部事務局(ふいっと兼務)  
実や花(知識や経験)を1つ2つと増やし、どっしりと腰を据えて育てていきたい。



山川 おかり (やまかわ おかり)  
介護老人保健施設 煌  
思い立つと突進してしまいが、普段はのほほんとしている。



山本 菜里 (やまもと まり)  
障害者支援施設 輝  
白くて丸いので。柔軟な支援ができる笑顔の職員を目指します。



柏木 大佑 (かしわざい だいすけ)  
障害者支援施設 凜  
小動物みたいとよく言われるから。小心者ですが、小さな歩幅でもやるときはやります!



阿部 千紘 (あべ ちひろ)  
障害者支援施設 和  
何事にも地道に進めていくことが多い。コツコツと努力していくことを大切にしていきたいから。



伊藤 祐貴 (いとう ゆうき)  
法人本部事務局  
ゆっくりですが、着実にゴールを目指します!



辻本 響希 (つじもと ひびき)  
グループホーム支援室  
無かったら不便だけど主役として表に出ず、陰ながら人を支えるものでありたいという思いを込めて。



増田 大晟 (ますだ ひろあき)  
介護老人保健施設 煌  
名前に「日」の字が入っているから。太陽の様に周りを照らす温かい人になりたいという意味を込めて。



越智 貴哉 (おち たかや)  
障害者支援施設 光  
確固たる信念を持ち、それを貫く!



端 紀香 (はた のりか)  
障害者支援施設 和  
何でも吸い込む。好奇心旺盛で挑戦するから。